

記載されている情報の正確さについては万全を期しておりますが、当会は利用者が当会の情報を用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：ROLE OF REHABILITATION DEPARTMENT FOR ADULT COVID-19 PATIENTS: THE EXPERIENCE OF THE SAN RAFFAELE HOSPITAL OF MILAN

概要：イタリアの SAN RAFFAELE 病院での経験を基にしたリハビリテーションの役割について、各フェーズの状況に応じた対応や役割、評価方法について詳細にまとめられています。また、telemedicine unit が併設されており、退院後 (post-COVID-19) のフォローとして、遠隔でのリハビリテーションも積極的に利用しているそうです。

出典

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0003999320303658?via%3Dihub>

アクセス日：2020-6-9

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：(高度) 急性期

タイトル：Prone Positioning in Conscious Patients on Medical Wards: A Review of the Evidence and Its Relevance to Patients With COVID-19 Infection

概要：意識のある COVID-19 患者に対する腹臥位療法のレビューです。介入の意思決定に参考になるように書かれています。腹臥位療法は短期的に酸素化を改善させ挿管を遅らせるかもしれないが、介入効果を示すエビデンスは弱いことに触れています。

出典

<https://doi.org/10.7861/clinmed.2020-0179>

アクセス日：2020-6-11

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：Physical distancing, face masks, and eye protection to prevent person-to-person transmission of SARS-CoV-2 and COVID-19: a systematic review and meta-analysis

概要：Lancet からの報告。SARS-CoV-2, COVID-19 などのウイルス伝播を予防するために有効な手段についてのシステマティック・レビューとメタ解析である。世界 6 大陸 17 ヶから出された 172 論文 (観察研究) が検索され、44 論文でメタ解析が実施されている。その結果として、人との距離を 1m 以上確保する (physical distance; いわゆる social distance) ことで、1m 未満の場合と比べ感染リスクが 0.18 倍 (約 82% 減少: 中等度の確実性) となり、距離が 1m 離れる毎に感染防御は増大する (相対リスク 2.02)。また、フェイスマスク着用することで、着用しない場合と比べ感染リスクが 0.15 倍 (約 85% 減少: 低度の確実性) であり、N95 などのマスクは、サージカルマスクよりも感染予防効果は高い。そして、保護眼鏡を着用することで、感染リスクが 0.22 倍 (約 78% 減少: 低度の確実性) となった。

システマティック・レビューとメタ解析の結果は、1m以上の physical distance を支持するものである。また、公共の場や医療機関でのフェイスマスク、保護眼鏡の適切な使用を広めていかなければいけないと述べられている。

出典

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0140673620311429?via%3Dihub>

アクセス日：2020-6-9

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：Telehealth transformation: COVID-19 and the rise of virtual care

概要：COVID-19 パンデミックに伴う遠隔医療の役割と運用についての紹介。(1) 在宅での外来診療、(2)COVID-19 患者の病院診療、(3)パンデミック後の回復、の3つのフェーズでの遠隔医療の状況と可能性が説明されている。(1)では地域や院内感染によるウイルス拡散リスクを減らしつつ医療提供を継続するためのツール、(2)では入院中の COVID-19 患者を対応する医療従事者の感染リスクを減らすため、そして隔離される患者が家族や友人とコミュニケーションをとり孤立を防ぐためのツールとして紹介されている。(3)では自粛解除後の感染の再増加や、パンデミック中に治療が延期されていた COVID-19 以外の急性・慢性疾患による医療需要の増大に備え、遠隔医療の体制を整える必要があると述べられている。

出典

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32311034/>

アクセス日：2020-6-5